

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）34

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43833

43
11/13
ロジャール・ヒルスマ教授宛

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

顧問はおらず。また [] によればニクソンはケネディの如く広く学界その他専門家と外交問題について意見を聞く様子はないので結局ニクソンは國務省に全面的にFALLBACKするだろうと考えられる。

処が國務省意見は何時も技術的で余りCONVINCOINGではない。ケネディの場合は満足する意見が出ない時には外部にも広く意見を求めて終えを出した。しかし國務省が現在さく成中の引継ぎのPOSITION PAPERぐらいてオキナワ問題が論議されることははなはだ心許ないと [] は述べた。

[] はその対策として日本政府はこの際至急だれか適当な人をさがしてニクソンにオキナワの重要性を説明すべきであると述べた。

(同教授はMIKE MASAOKAあたりが適当かと思うと付言した。彼はその理由としてニクソンは個人的にちよ名な人より特定の団体または組織を代表する人の意見を聞く傾向があることを指摘した。)

[] は、ニクソンは外交問題に極めて熱心な様であるがどの程度熱心しているか分からない。一例を挙げると自分がグイェトナムから帰った時実情を知らせた方が重

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

いと思つて共和党の有力者にも連絡をとつた。ロックフェラーNY州知事もPERCY上院議員も数時間にわたつて自分の意見にみみを傾けた。処がニクソンは自分の部下のGARMENTに関してくれと言つて彼を寄越した。だから日本側でニクソンにアプローチをしても同じ様なことが起るかも知れないがGARMENTに言うことは決して無意味ないと述べた。

要はニクソンにオキナワを認識させる必要があるのだ。また米國としては絶えずAHEAD OF EVENTSの態度を執つて十分日本が満足する様な条件で返かんする必要があると思つている。返かんの代償として日本にPENALTYを課するのは良くない。オキナワが重要になるのは韓国に侵略がある時であるが、日本政府に十分満足の行く様なオキナワ解決を計つておきさえすれば朝鮮に問題があつた時も日本の協力を得られると思うと [] 共に述べていた。

米に転電し、国連、シカゴに転報した。